

教えてドクター

“肝臓の硬さ”ってどうやって調べるの？

「肝臓の硬さ」について

皆さん、肝臓の硬さを意識したことがありますか？ 正常な肝臓は軟らかく弾力のある状態です。しかし、肝炎ウイルス（B型肝炎、C型肝炎）や飲酒、脂肪肝などが原因で肝臓に炎症が長く続くと、最終的に「肝硬変」に至ることがあります。

肝硬変は、肝臓に線維化が起こり硬くなる病気です。自覚症状がないことも多いですが、肝臓がんのリスクが高い危険な状態です。検査は、一般的に血液検査や、腹部エコー、CT、MRIなどの画像検査で総合的に診断します。詳しい検査法に「肝生検」がありますが、対応できる入院施設は限られ、出血のリスクもあるため、患者さんの負担が大きいことが欠点です。

“エラストグラフィ”って？

エラストグラフィ検査は、肝臓の硬さを測る検査です。日常の診療では、慢性肝疾患やその疑いのある人に対して、硬さを測定できる腹部エコー検査の機械

や、「フィブロスキャン[®]」という専用の機械を使い数値で評価します。また、検診でエラストグラフィ検査を導入している施設もあります。「フィブロスキャン[®]」という機械は、肝臓の硬さに加えて、脂肪の量も数値化します。そのため、検査時の脂肪化や線維化の度合いを数値で把握でき、さらに患者さんの負担も少ないため一般的に検査で使われています。

鹿児島大学病院でもエラストグラフィ検査が可能ですので、検診で肝機能異常が続いている人や、「肝硬変に至っているのではないかな…」と心配な人はご相談ください。

DOCTOR

今回の教えてドクターは…

鹿児島大学病院 消化器内科
坂江 遥 先生



『鹿児島県肝炎医療コーディネーター養成講座』

◆肝炎医療コーディネーターとして、一緒に活動しませんか？
皆さまのご参加をお待ちしております。

日時：2024年12月1日（日）午前中

場所：Lika19-20

形式：ハイブリッド開催（予定）

対象：肝炎医療コーディネーターを
目指したい人

日頃の身近な相談窓口として
『肝炎医療コーディネーター』へ
ぜひ、お声がけください。



《肝Co認定バッジ》

詳細は開催日の1カ月前に、
肝疾患相談センターの
ホームページでご確認ください。

鹿児島大学病院肝疾患相談センター→

